

右謹デ審査ノ結果ヲ報告ス

昭和十年十月五日

書記官長

議長紀

楠  
密  
陽

昭和十年十月二十六日

書記官長

主筆 書記官

書記官

鐵道省官制中改正ノ件審査報告

鐵道省官制中改正件審査報告

謹デ今回御諮詢ノ鐵道省官制中改正ノ件ヲ審査スルニ本件鐵

道省ニ於テ近時國有鐵道ニ開辦スル國營自動車業務ノ進展ニ伴

其ノ事務ヲ主シヨユル

ト運輸局ヲ設置セル自動車課ノ課長ニ充ツル為メ茲ニ曩ニ大日本

書記官一人

商工省所出官タリシ

管ロシ

製鐵株式會社ノ設立ニ因リ小幡製鐵所ガ同會社ノ經營ニ移メタル

結果同所ニ於ケル

スル經理事務

ニ由リ鐵道用品ノ製作等ニ關シ同所トノ間ニ取引關係複雑ト為

リタルヲ以テ之ガ處理ヲ敏活ニシ兼テ九州各縣（地ノ民間）新在ノ補工場

（鉄道用品ノ）

ニ於ケル諸般製作又監督及検査ノ事務ヲ統轄セシムルノ目的ヲ

福岡縣

以テ新ニハ情ニ經理局派出所ヲ設ケルニ付之ガ所長ニ充テルヲ

新

書記官二人ノ増加ト電氣接法ノ利用ニ關シ調査研究ヲ為サシ

技師二人

ムル為メ、（其他）「カソリン」動車等ノ特種動力車ノ管理及調査ニ從事セ

シムル為メ技師若一人並ニ東京及大阪ニ於ケル改良事務所ノ事

務増加ニ伴ヒ技師二人ヲ執（執）レテ増加シ東京此等ノ事務其他諸

般事務ノ増加ニ伴ヒ本省内外各郡局、（徳島局）八幡派出所建設事務所及

改良事務所ヲ通ジテ屬ハ十一人及技師三十九人ヲ増加スルノ必

要アルニ由リ茲ニ現行ノ同省官制ニ一部ノ改正ヲ加ヘ職員ノ定員

ニ於テ上記ノ如キ増加ヲ為サントスルナリ（第三條及第十三條）而シテ此ノ

増員ニ要スル經費ノ本年度豫算ニ既ニ成立シ本令ノ實施上

臺支障ナキモ、旨當局ニ辯明セリ。

按ズレニ存件ニ鐵道者ニ於テ各種事務ノ増加ニ伴ヒ必要ナル職員ノ

定員ヲ増加セントスルモノニシテ別ニ支障ノ虞ヲ認メザルニ由リ此ノ儘

之ヲ可決セラレ然ルベシト思料ス

右謹ク審査ノ結果ヲ報告ス

昭和十年十月二十六日

書記官長

議長宛

秘 密

